

# 東 腎 協

2013年10月15日発行 SSKA増刊通巻8061号〈毎月6回1の日6の日発行〉1971年8月7日第三種郵便物認可

# No.199 SSKA

## 2013 10.25

### おもな記事

施設紹介⑨三友会 あけぼの病院 .....	2
2014年度都庁予算要請項目 .....	8
透析バンザイ .....	17



ケイトウ

 特定非営利活動法人 東京腎臓病協議会  
(NPO 東腎協)

〒170-0005 東京都豊島区南大塚2-40-11 富士大塚ビル2F TEL03-3944-4048 FAX03-5940-9556  
<http://www.toujin.jp/> E-mail [info@toujin.jp](mailto:info@toujin.jp)



# 東腎協 第3回大会 会場スナップ

6月23日（日）東腎協第3回大会  
場所：戸山サンライズ（全国障害者総合福祉センター）

（左上）江戸川病院メディカルクリニック 新城孝道先生

（左下）日大附属駿河台病院 鈴木康之先生



# リレーエッセイ

## 選ばれちゃった縁を活かして

NPO東腎協理事会 オブザーバー 坂本 悦男

(東海病院ひまわり会)

中学、高校と柔道を一生懸命にやり、社会人になってもその縁を大事にして、後輩たち柔道部員の面倒を見続けるほど身体に自信を持っていたので、仕事上も含め、嫌いでないお酒に長い間浸っていたものでした。

60歳の練馬区の検診の日、血圧と血糖値を見られたとき、以後の検査不安、直ちに近所の医師に行くように申し渡されました。まだその時は体力に自信があり、酒量もあまり減っていませんでした。

近所の医者に行くと、いきなり「成人病は本人がだらしないからなるんだ、自分のことを考えない大人がおかしい」と、強い剣幕で言われたんですね。その日から、頭に来て、禁酒と散歩二時間を開始。三カ月すると血糖値は平常。体重は5kgくら

い減り70kg、しかし血圧は下がらずでした。その後の検査で腎機能が落ちていと言われました。

酒を止め、散歩二時間の生活をし、月に二回の血液検査を続けていた64歳の夏、急に体重が増加し、足はムクミ、腰が太くなった。体中がかゆくなり、腕や体の毛細管から急にミミズ腫れや出血するようになった。我慢できずに違う医師、最初に私を脅かした方に「データを持っていき、「かゆみ止めを下さい」と言うと、その場で東海病院に電話をして入院を決められてしまった。

透析患者の出来上がりでした。あと一週間我慢したら「心臓は止まっていたでしょう」との宣告。透析を開始すると「ひまわり会」現会長の山崎さんより、東腎協の冊子で趣旨説明を受け、入会の勧誘をいただいた。自分は死に損なったことだし、先人が苦勞して、今の我々の治療環境を創って下さ



ったことに感謝して、勧誘と同時に入会させていただいた。

透析中、病院の都合でベッドを移っていたが、その時前会長の大家さんが隣のベッドで透析をされており、その縁で「ひまわり会」の会計係をさせていただくことになった。そんな時、東腎協の方より、オブザーバーを推薦せよという話が「ひまわり会」にあり、その候補者を決める幹事会の日、私は先約があり欠席していたら、全員一致で「坂本に決めた」ということでした。

### 目新しい事ばかりで

### 理事会ではほとんどん質問

現在は、昔浸っていた酒は、ビールジョッキ一杯が限度。すぐに酔いが回り、昔は割勘では必ず得していたが、今は完全に割勘負け。その割に、飲み会には顔を出す。宴会好きは変わらないらしい。東腎協では目新しいことばかり

なので、理事会では質問ばかりさせていただいている。先人が、汗と血で築きあげた腎臓病患者の恵まれた環境を守るのが東腎協、全腎協の働きならば、オブザーバーに選ばれちゃった縁を活かして、知らないことをどんどん質問していかうと思う。嫌がられても。そして一緒に透析を受けている仲間たちと、楽しい時間を生きている限り続けていきたいと思う。皆さんよろしくお願ひします。

## 目次

リレーエッセイ／目次	1
施設紹介⑨三友会	
あけぼの病院(町田)	2
わたしたちの患者会報	
あけぼの友の会	7
2014年度都庁予算要請	8
慢性透析に関する資料表	10
活動のまど	11
なかまのたより	14
透析バンザイ	17
事務局から／編集後記	23

## 施設紹介

## 三友会あけぼの病院（町田）

「患者と医師・看護師」三位一体の医療で、より良い医療、質の高い医療の確保をめざしています



三友会あけぼの病院（町田）

## 三友会の理念

全ての医療従事者は病める人々を救済する義務があることをよく理解し、そして救済する為に最良で安全で、安心できる医療を提供しなければならぬ。

その目的に向かって職員一同全力をあげ努力を惜しまず身を粉にしてまい進することを目指し、とりわけ透析患者さまのお付き合いは医療を提供する側も、治療を受ける方々もその一生の半分の時間を共存するのですから、お互いのお付き合いが一円（天地万物同根一空：花はくれない柳は緑、蔭あれば日向あり、生ある物全はいずれか滅し、そして再び芽が出て花が咲き実がなる）の理の中で共に生きる事を理念と考えております。

## 三友会あけぼの病院の概略

昭和53年、町田市の現在地に、初代理事長の南郷英明が多摩地区相模原地区の腎不全、透析患者さまの治療を行う専門施設として一般部門に内科、外科、整形外科を併設して開設。昭和63年には八王子市内に在住の患者さま

の治療と利便性を考え、小比企町に30床のあけぼの透析クリニックを開設。平成11年町田市あけぼの病院に隣接してあけぼの第二クリニックを開設し、現在の三施設を完備しました。その他、平成18年には健診クリニックを隣接地に移転開設いたしました。

町田市の透析二施設は併せて150床320人が通院し、八王子クリニックと合わせた総計は平成25年8月1日現在400人余が通院しております。

## 常時20～30人が入院 万全の態勢で合併症に対応

## 入院透析

当三友会の特徴としてあけぼの病院は入院透析も実施しており、病室にはRO水の配管、ポータブルROを配置し、患者さまの病態に合わせた治療を選択することも可能です、常時20人～30人の方々が入院しております。

## 合併症対応

透析合併症の腎性骨異常栄養症による骨軟化症、繊維性骨炎や、アミロイド沈着による破壊性脊椎骨関節症、関節症、病的骨折、或いは手根管症候群等の手術的治療や骨粗しょう症などの治療を整形外科が腎臓内科医と透析医と相談しながらおこなっており、骨関節障害や術後のリハビリも併せて行っております。消化器外科は腹部疾患の緊急手術に対応で

きる専門医を配置しております。

手術の際は麻酔専門医による全身管理下に腎臓内科医師と臨床工学技士、看護師が主治医と連携し、術前術後の透析管理を行い万全の体制を構築しております。

## 専門的な一貫治療体制と 災害時の受け入れ態勢

### 地域医療体制

更に透析患者さまは基より、全ての患者さまの全身的な合併症の検査、診断、治療を行う目的で、近隣の北里大学病院、聖マリアンナ医科大学病院、東京女子医科大学病院、東京医科大学八王子医療センター、東海大学医学部付属八王子病院と地域連携を図り、広く患者さまが高度医療を受けられるように協議を重ね協力体制を構築しております。

統計によれば透析患者さまの40%～50%程度は糖尿病が原因で、腎不全を併発し、透析に移行すると推移されます。

当院では糖尿病担当専門医と腎臓内科専門医を配置し、糖尿病、腎機能不全、透析に至る一貫性の診断、検査、治療体制を構築し、およそ20年間蓄積したデータを解析して予防から専門的治療を提供し、皆様の用に配慮する仕組みを運用しております。

### 災害時の対応

災害の緊急透析体制の構築については患者さまと相談し、三友会町田市の2施設を中心

に八王子クリニックを含めた独自の体制を計画しております。

八王子クリニックは診療所であり、重症化した方や、外傷を受けた方には入院施設を持ちませんし、水道、電気が使用できない場合は、シャトルバスで町田市のあけぼの病院に全員収容する方式を構築し、八王子市と協議し、緊急事態には道路通行許可を優先的に発行してもらうことを了承されています。

町田市は東京都の西端にあり、周囲を神奈川県と接し、また近隣多摩地区が取り囲むような立地条件にあります。災害時には東は多摩川で分断され、更に西が相模川で分断されると、都内や厚木市以西には脱出できません。

町田市に在住する透析患者さまは都内に避難することは難しく、東腎協会員災害手帳の手順を利用して都内の透析医療機関を受診することは不可能です。

三友会は近隣多摩地区の八王子市、立川市、調布市、府中市、稲毛市の各透析医療施設名簿と自治体役所名簿、保健所名簿を作成し、患者さまの連絡網を構築したあけぼの病院独自の災害手帳を患者さまに配布しております。

町田市の2施設は緊急時拠点連絡病院の性格を持つので、三友会あけぼの病院と第二クリニックの患者さまのみならず、災害時のクラッシュシンドローム、脱水など傷害者や近隣相模原市、横浜市各地からの透析患者さまを受け入れる体制を構築しております。

自前の井戸は東京都規制をクリアできず

確保はできませんが、従前から利用している70メートルの井戸は利用できるよう確保しております。

また、町田市と協議し、災害時の給水も優先的に確保できるように配慮することを確約しており、幸いに水道耐震管も病院前道路に埋設されました。

## 透析医療を受ける方々の 抱える問題

透析患者さまの高齢化に伴う体力の減退は、在宅生活の自立を障害し、患者さまの在宅生活を孤立化させる大きな要因となっています。

そして患者さまが自分で通院ができなくなり、治療に支障が出たり、長期入院を必要とする事態を招くようなことが現実的に大問題となる状況が発生しております。

とりわけ、通院手段、送迎助成送迎システムの問題は患者さまと日本中の自治体、医療機関の共有の問題として広がっています。

地方型都市の三友会八王子クリニックでは地理的環境の中で患者さまの住居が散在し、交通アクセスにも問題があるので開設以来2台の車両で無償の送迎を行っております。

車社会の町田市では透析患者さまの通院助成制度が確立し実施されており、助成を利用し有償のタクシーや、介護サービスを利用する方、福祉タクシーを利用する方も多く、家族が送迎する方などのシステムが確立し運用

されておりますので、町田市の透析患者さまは、いずれかの方法を既知の方式と理解しており、通院の送迎に困る人が少ないのです。当院は当分の間は従前通り最寄りの駅までの送迎とする予定です。なお、当施設は2年後に隣接地に移転を計画しておりますので、その際は自前での無料送迎も考慮しており、福祉車両の申請、購入など計画を進めております

### 治療費負担の問題

全ての国民に負担を強いる方程式は2年ごとの医療法改正とともに皆様方にも大きな負担をかけてきました。

国策として医療費削減の狙いは、税金を削減し、その部分を国民の自己負担として転嫁することと理解しております。

高齢者の介護保険、後期高齢者保険の自己負担などは直接、間接的に生活費と治療費の出費をひっ迫することは明白の事実です。

透析患者さまの多くは60歳以上の高齢者で、リタイア後の生活は各種厚生年金に依存するのが実態と解釈しております。

皆様が身体障害者として透析医療費の免除助成を受けて、長期間の透析と、高額な治療費を工面できる実態を考えると、高齢者の保険料の負担増額、各種助成金の減額、打ち切りが次々に実施されれば、透析患者さまにもその影響は波及すると考えられ、自己負担の出費は益々増えますので国民にも病者にも極めて不合理な話と思います。



### 診療報酬と助成金の問題

今後の診療報酬の削減や助成の削減は透析患者さまにも更なる自己負担を強いると予想されます。

同時に、医療を提供する側にも同じ様に医療費削減の方法として診療報酬の低額化を強化してきます。特に透析医療は削減の余地がまだあると厚生労働省は考えているふしがあり、医療法改正のたびに、透析管理料をはじめ、貧血治療薬や特定保険医材料であるダイアライザーの価格削減を進めてきました。

この様な施策は医療機関にとっては死活問題で、薬品や機械、治療用部材の購入価の見直し、入れ替え計画の見直しなど必死で取り

組んでおりますが、安全で、安心な医療を提供するためには低機能の安価な治療用材料を選択して使うわけにも行きませんし、耐用年数を無視して機械の入れ替えを延長することもできません。

診療報酬削減は医療機関はもとより、医療機械メーカーや、製薬メーカー、ディーラーなどにも一連の負の負担を強制しております。その様な厳しい環境の中で、三友会は、医師、薬剤師、工学士がメーカー、ディーラーと随時交渉する仕組みを確立し、常に安定したデリバリーと適切な価格の購入方式を構築して、皆様に安全な医療を提供する努力を続けております。

### 入院治療の問題

透析患者さまの医療保険入院透析は入院基本料の中の平均在院日数のカウントが適応外となっており、長期入院に問題はありませんが、今回の医療改正では長期入院は療養型病床や回復期病棟への入院を明確化し、出来高払いの診療費部分がなくなる可能性もあります。医療機関には大きな打撃となる恐れがあり、医療機関の病棟再編成を考えなければ入院透析の行く場がなくなる恐れもあります。

合併症や身体的な機能の衰えが強くなれば通院不可能となり、当然入院治療を行うことは必発です。

医療保険療用病棟を有する医療機関では透析患者さまが長期入院可能ですので問題は生

じませんが、当三友会の建屋は古く、医療法に対応ができません。しかし、仮に新たな入院規制を強いられた場合は、三友会の負担が出ようと従前通りに皆様の病態に合わせて対応することを考えておりますのでご安心ください

### 高齢者社会の問題とサ高住

さらに、高齢者の孤立化、孤独化、あるいは高齢者の認知症病者の対策や家族構成の核家族化などの対策として、入院患者の医療費削減を目的に、入院患者を各種老健施設、サービス付高齢者住宅（サ高住）などへの移行を促しました。

その結果は入居費、生活費や介護保険サービス負担など自己出費が増えることになり、低家賃と言え即決で入居できる方々は、年収300万以上の方々に制限されます。

透析医療クリニックが運営するサ高住に入居しても必ずしも当該サ高住施設内に医療施設がない場合もあります。送迎シャトルバスを利用して関連医療機関に通院するのが現実で、通院する体の負担にはありません。

病院敷地内に別棟でサ高住を開設しても家賃は安価になりません、生活サービスと訪問診療在宅医療サービスも受けることはできませんが、その費用は民間サ高住に入居した場合と変わりません。

三友会あけぼの病院は、新たな移転地の購入とあけぼの病院の跡地を不可分一体契約で

売却します、あけぼの病院の跡地には、大手不動産業者がマンションとサ高住を建設し、全国で初めてのモデル事業として三友会が協力して高齢者の訪問診療、看護、介護、通院、入院などの利便性を提供することを決めております。

## オーバーナイト透析など 多様で最適な医療の提供を めざして

三友会あけぼの病院は2年後の平成27年6月をめどに隣接地に移転を計画中です。

移転をきっかけに、二施設に分散する透析施設を一カ所に統合する予定で建設を進めております。

その目的は東腎協の会報でも話題となっております。近々の透析技術の革新的進歩をもとに透析環境の質のレベルアップ、オンラインHDFの導入、透析時間の調整やオーバーナイトのスペースを確保してそれぞれをユニット化し、多様化した皆様の要望に相應する環境と組織作りを考えております。更にインフルエンザやノロウイルスなどの感染流行時の隔離ユニットの構築を計画しております。

簡単な個室化も考慮中でオーバーナイトに居心地の良い場所を提供したいと思っております。そして長期入院の必要な患者さま向けに療

養病棟に転換可能な病棟を考えております。将来は訪問診療在宅透析の方向に向けて国策は進めており、すでに少数の患者さまは都内の専門医療機関で在宅透析を受けておりますし、全国的にも専門医療機関で実施しております。

しかし、未だ訪問透析は多くの問題を含んでおり、安易に行うべきではないと判断しております。自宅の電気改装費用、水道設備の改装設備費、電気料の負担、ひとり透析の禁止、緊急時の対応などはその仕組みが完備ではありません。自己抜針、止血手段のトレーニングや、緊急時の応援態勢などの問題や、感染防止対策の不確実性の問題があり、比較的若い人や、透析の仕組みを理解できる体力のある人に限られると思います。もちろん家族や支援者の存在が前提です。就労年齢の方にはメリットはありますが当三友会では早急な対応は考えません。

その代りオーバーナイト透析を考えており、就労年齢の方や夜間孤立するような不安な高齢者の方に対応したいと考えております。

そしてオンラインHDFのユニットを設けて、その透析法に適應する方に対応したいと思っております。あるいは4時間越えの透析を行うユニットも設けて皆様の多様な病態に合わせた最適な治療を提供したいと存じております。さらにインフルエンザやその他の感染症対策として、別にコナーを設けて対応できるスペースも確保しております。

理事長紹介



三友会  
あけぼの病院  
理事長

南郷 俊明

昭和46年 東京医科大学卒業 医学博士  
昭和46年 東京医科大学整形外科学講座入局  
平成元年 東京医科大学講師  
平成4年 同整形外科科学講座退職  
平成5年 三友会あけぼの病院入職 整形外科部長  
平成17年 三友会あけぼの病院常務理事  
平成23年 三友会あけぼの病院理事長就任

患者の眼

あけぼの病院は、  
「安心」「信頼」できる  
病院です

私はあけぼの第二クリニックで3年目となる患者で、都内の施設3カ所を合わせ18年目の透析者です。また、透析施設の治療、取り巻く環境の事は多少情報を持っています。

この度、東腎協機関紙に「あけぼの病院」が紹介されるに当たって、当医院の治療のためインフラの特徴と、患者の目から見た病院に対しての再評価を述べさせていただきます。

(1) あけぼの病院の治療環境では、合併症予防のための定期検査機器が非常に豊富にあります。高齢化に対する、透析者の予防治療の利便性は大変に有り難く、他の施設の比ではありません。採血検査、胸部レントゲン、心電図は当然のこと、心臓、腹部、頸動脈、甲状腺、副甲状腺の各エコー、骨塩量測定、脈波図等が定期検査にあります。定期検査ではありませんが、CTスキャンでの検査もあります。

(2) 都内の施設に多い看護師、テクニシャンの方々の出入りが多発される事を知っておりますが、当病院は殆どなく毎回の透析が安心して受けられます。

(3) 緊急入院時は常時対応が可能で、患者は常に安心です。

(4) 災害時に対し、緊急離脱方法の個人指導をいただき、また水、電力の問題も、病院として常に心がけております。

(5) 私は透析日の昼食が楽しみです。他の施設と比べ、非常に安価で、何よりも美味しく。常に患者からのアンケートを取り献立を研究して、最近では食べやすい食器に変える等、栄養課の日頃のご尽力に感謝し、当医院の透析者に対する心構えに感心しています。

(6) 患者の通院送迎に関しては、都内各施設では患者数の50〜60%方々が利用されておりますが（一部有料での施設有）、町田市の特性でしょうか、当医院のそれは患者数の60%で、当分は現状で良いと思います。

(7) 当医院整形外科医の浜辺正樹先生は、頸椎手術、胸腰椎手術、椎間板ヘルニア摘出術が専門ですが、高齢透析者に見られるような、背柱管狭窄症のような非常に高度で長時間手術には大変な実績を持たれ、先生の大学病院時代から現在まで、1000人以上の手術を行い、その他の関係の手術量を加えれば、大変な数の手術をされた先生であります。あけぼの友の会（患者会）会長や役員の方が、最近先生の手で五時間にも及ぶ大手術を受け、お二人とも大成功でした。私は、手術前のお二人の苦しみを知っており、浜辺先生に敬意を表します。

(8) 最後は私見ですが、透析を椅子でやりたい方もいると思います。生活様式の変化もあり、病院には将来ご検討願いたいと思います。

以上の点で、都内約350透析施設（他40施設は大学病院内）の中では、透析治療を含め、諸条件に非常に恵まれた病院である事を確信しています。

最後に、南郷理事長のお話では、近い将来あけぼの病院は新病棟が設立され、診療各門のレベルアップを行い、透析部門では、長時間透析、HDF（血液ろ過透析）、夜間透析をめざし、患者の終末期の課題も、将来は何かの方法を配慮されるということです。

患者の皆様、あけぼの病院を信頼し、共に協調しあって、楽しい透析生活を送って行きましょう。

# わたしたちの患者会

45

**あけぼの友の会**  
 いちょう会 (八王子)  
 病院名 医療法人社団 三友会  
 あけぼの病院  
 あけぼのクリニック  
 (八王子)  
 あけぼの第二クリニック  
 所在地 〒194-0021  
 町田市中町 1-11-11  
 電話番号 042-728-1111

- ◇**会行事** 総会・顕彰式 (4月)、料理講習会 (7月) 日帰りバス旅行 (9月)、学習会 (11月)、新年会 (1月)。
- ◇**役員会** 役員会は毎月一回、必要に応じて開催。
- ◇**病院との懇談** 年1回定例懇談会 (10月)、テーマは役員会で検討。
- ◇**特に強調したい会の特徴** 会

## 会員の親睦・結束を旨とし、医療行政・介護・福祉の改善に貢献

員の親睦・結束を旨とし、透析医療行政、災害対策などの変化に、東腎協、全腎協と連携し対応して行きます。

各行事はその一環ですが、特に会報「あけぼの」は年4回発行され、行事報告等会員に広く伝えていきます。以上の行動を通して会員拡大を図っています。

◇**特に協調したいあけぼの病院の特徴** あけぼの病院は「患者、医師、看護師」を三位一体とする医療をモットーとし、中でも患者との関係をよく理解し、対策を立てています。

特に友の会の行事には全面的に支援して頂いています。中でも4月の長期透析者「顕彰式」には、理事長以下、医師、看護師、スタッフが参加され、共に

顕彰者を称えています。

医療では、透析患者の各種検査体制が充実しており、院内で多数の検査が受けられます。

◇**今後の課題** 透析患者の高齢化に伴い、会員の行事参加率の低下及び会員加入率の低下が問題です。

◇**東腎協への意見** 東腎協の充実には、各患者会の充実と会員拡大が必須です。各患者会の役員会等に参加し、交流を深めたいと思います。

◇**役員会からひと言** 役員一同は各行事に会員が一人でも多く参加頂けるよう努力しており、多くの参加とその活動を通して、多くの新加入者の増加が励みとなり、元気づけになります。

会長 加々美俊六 電話042-7134-5520  
 会設立 昭和52年9月



あけぼの友の会役員と南郷理事長

東腎協会員数 あけぼの病院170名、八王子あけぼのクリニック (いちょう会) 36名  
 会費 友の会1200円、東腎協5400円  
 役員体制 会長1名、副会長1名、会計2名、会計監査1名、相談役1名、正会員3名、  
 曜日役員 月水金(昼)7名(夜)3名、火木土(昼)5名(夜)1名、計16名

2014年度

# 都庁予算要請項目

腎臓病の研究、予防、治療から社会復帰まで含めた腎疾患総合対策の確立のため以下の項目を要請致します。

## 1. 各種医療費助成制度等の維持継続

- ①心身障害者（児）医療費助成制度②・難病医療費等助成制度③・心身障害者福祉手当を国の動向にかかわらず堅持継続してください。
- ④心身障害者（児）医療費助成制度、心身障害者福祉手当制度に新規65歳以上で低所得の障害者も対象にするか、または救済する施策を検討して下さい。
- ⑤公費での医療費助成や福祉制度の透析患者への認知を徹底して下さい。

## 2. CKD（慢性腎臓病）への取り組み推進について

- ④「新たな国民病」としての慢性腎臓病（CKD）に対して自治体（東京都）主導で予算措置を含め

て積極的に取り組みを推進して下さい。

- ⑤東京都医師会等の協力を得て、かかりつけ医と腎臓専門医の連携強化を計ってください。
- ⑥糖尿病性腎症からの透析患者を増やさないため一層の対策を講じてください。

- ⑦2005年度から共催名義の使用承認を受けている「腎臓病を考える都民の集い」の予算化をしてください。また、東京都の施設を継続使用させてください。
- ⑧生活習慣病からの腎不全患者や難病患者の早期発見のため健康診断のない企業や自営業者、その家族の健診率を高める対策をしてください。

## 3. 腎臓病患者の救急医療について

- ⑨慢性腎臓病（CKD）に起因する心血管系疾患や人工透析による心筋梗塞疾患等の病状急変に備えて人工透析可能な救急医療体制の

2014年度都庁予算要請は、8月8日（木）都庁第一庁舎会議室で行われ、東腎協から藤田会長、戸倉副会長、梅原副会長、岸里事務局長、榎原、斉藤、板橋各理事が出席した。なお、回答については次号に掲載いたします。

- 整備と強化をしてください。
- ⑩救急医療体制の充実としての「東京ルール」の的確な運用をしてください。

## 4. 透析医療の安全について

- ⑪患者本位の医療を目指し、透析医療スタッフの充実、透析医療ミスや医療事故防止と感染症対策の行政指導を強化してください。

## 5. 要介護透析患者への支援強化

- ⑫高齢化が進む透析患者が必要とする療養病床確保のため、東京都が進める療養病床増床計画を引き続き推進してください。
- ⑬高齢化と合併症悪化等による要介護透析患者の通院支援のため通院送迎対策を実施してください。

## 6. 臓器移植推進と再生医療について

- ⑭東京都に共催名義の使用承認を



都庁担当者に要請する東腎協役員

- ⑮国も推進している再生医療研究を行っている都内大学医学部研究班に東京都も連携して一層の進化に努力してください。
- ⑯島しょの医療体制強化

- ⑯島しょの医療体制強化
- ⑰高齢化している島しょ透析患者の送迎を充実するための補助をしてください。

## 8. 災害対策の強化

⑰ 要援護者である透析患者に対する災害時透析医療をはじめとする総合的災害対策の構築、強化をしてください。

⑱ 災害時の被害想定から透析患者の長期滞在施設の確保、5000人が透析難民となると言われている事への対策等、他県とのネットワークを進めてください。

## 9. 就労支援について

⑲ 内部障害者、難病患者、長期慢性疾患患者、小児慢性疾患患者への通所が出来る就労支援機関の設置を公共交通機関の便利な23区内に設置してください。

⑳ 時間配慮のほかに、自己管理が厳しく体調維持の難しい透析患者でも就労し、短期離職がないよう定着につながる対策を講じてください。

㉑ 透析患者をはじめ内部障害者の社会参加に向けて、雇用環境整備の確保を継続・推進してください。

## 10. その他

㉒ 腎不全部会に当事者である患者の代表を参加させてください。

### 2014年度

### 都議会政党ヒアリング

日時：9月10日（火）

場所：東京都議会各政党会議室  
 参加者：藤田会長、戸倉副会長、梅原副会長、岸里事務局長、榊原理事、斉藤理事、板橋理事、田崎オブザーバー、  
 ヒアリング政党：都議会生活者ネットワーク、都議会民主党、都議会共産党、都議会自民党、都議会公明党（訪問順）

限られた時間の中で、次の4つを重点項目として各党に説明、要望した。

1. 各種医療費助成制度の維持継続
2. CKD（慢性腎臓病）への取り組み推進について
3. 要介護透析者への支援強化
4. 災害対策の強化

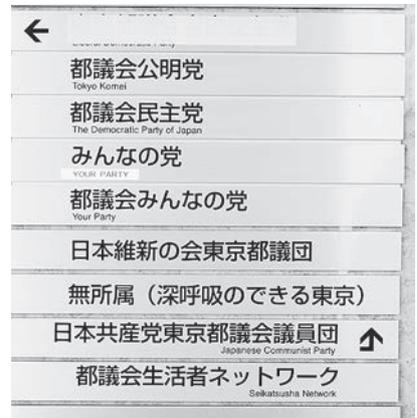
各政党に対する要望項目は、藤田会長の挨拶のあと、榊原理事による簡素明瞭な説明が行われた。各党から積極的な質問、ご意見をいただき、今後の東腎協の運動につながるものでした。



都議会民主党



都議会生活者ネットワーク



都議会公明党



都議会自民党



都議会共産党

# 2012年度・慢性透析に関する資料表

日本透析医学会による毎年末の統計により、私達透析患者の現況が集計されています。  
統計調査対象施設数は全国の4,279施設で回答施設数は4,233施設、回収率96.3%ということです。  
これは東京都に關係するものを会員の参考資料として抜粋して掲載させていただきました。

1. 施設数 4,233施設 (20施設増 0.5%増)
2. 設備 ベッドサイドコンソール 124,930台 (3,067台増 2.5%増)
3. 能力 同時透析 123,204人 (3,277人増 2.7%増)  
最大収容能力 414,049人 (8,468人増 2.1%増)
4. 慢性透析患者 309,946 (5,090人増)  
 昼間258,066人 夜間41,976人 家庭透析394人 CAPD9,510人  
 導入患者数 38,165人 (448人減 1.2%減)  
 死亡患者数 31,110人 (367人増 1.2%増)  
 5年未満透析患者数 男 94,988 女 47,953 不祥 0 計 142,951  
 5年以上10年未満透析患者数 男 47,657 女 28,107 不祥 0 計 75,784  
 10年以上15年未満透析患者数 男 22,980 女 1,545 不祥 0 計 38,434  
 15年以上20年未満透析患者数 男 11,515 女 8,671 不祥 0 計 20,186  
 20年以上25年未満透析患者数 男 5,939 女 5,051 不祥 0 計 10,990  
 25年以上透析患者数 男 6,619 女 5,674 不祥 0 計 12,293
5. 最長透析歴 44年9ヵ月
6. 導入患者平均年齢 68.44歳 男性67.63歳 女性70.12歳
7. 導入患者原疾患  
 ①糖尿病性腎症 16,119人 (44.1%) ②慢性糸球体腎炎 7,078人 (19.4%)  
 ③腎硬化症 4,484人 (12.3%) ④多発性のう胞腎 932人 (2.6%)
8. 2012年末患者平均年齢 66.87歳 男性66.08歳 女性68.20歳
9. 2012年末患者原疾患  
 ①慢性糸球体腎炎 101,126人 (33.6%) ②糖尿病性腎症 111,554人 (37.1%)  
 ③腎硬化症 24,791人 (8.2%) ④多発性のう胞腎 10,351人 (3.4%)
10. 2012年死亡患者の死亡原因分類  
 ①心不全 7,985人 (27.2%) ②感染症 5,956人 (20.3%)  
 ③悪性腫瘍 2,666人 (9.1%) ④脳血管障害 2,203人 (7.5%)  
 ⑤その他 2,481人 (8.5%) ⑥心筋梗塞 1,320人 (4.5%)  
 ⑦悪液質/尿毒症 1,097人 (3.7%) ⑧カリウム中毒/頓死 871人 (3.0%)
11. 1983年以降導入患者生存率  
 1年87.3% 5年59.6% 10年36.0% 15年22.8% 20年15.8% 25年12.5%
12. 2012年 東京における透析患者数 28,614  
 昼間23,393人 夜間5,247人 家庭透析 39人 CAPD 1,099人
13. 透析液エンドトキシン検査  
 毎日検査・17施設 毎週・138 隔週・221 毎月・2,763 年数回・456  
 年1回・363 なし・157 記載無し・9 不明 77 合計4,201施設
14. 透析液細菌数 (cfu/ml)  
 0.1未満・2,395施設 0.1~586施設 1~471施設 10~247施設  
 100~55施設 不明320施設 記載無し127施設 合計4,201施設

(以上、日本透析医学会調べ2012年12月31日現在)

# 東腎協 活動のほど

## 東部・中南部ブロック 合同交流会

日時…平成25年7月14日(日) 午前9時45分～午後1時  
場所…そなエリア東京(東京臨海広域防災公園) 太陽楼(中華バイ



防災体験学習会参加者の皆さん

キング)  
参加者…東部34名、中南部13名、  
個人会員9名 計56名  
※第2部 54名(交流会)

### 第1部 防災体験学習

今後、起こるであろうと予想される首都直下地震、東南海地震に備え普段から防災に対するの関心を持つてもらうために企画した。

開催地の東京臨海広域防災公園は、首都直下地震等の大規模な災害発生時に、現地における被災情報のとりにまとめや災害応急対策の調整を行う「災害現地対策本部」等が置かれる首都圏広域防災のへ

ッドクォーター(本部、司令部、また、それらの要員)及び広域支援部隊等のベースキャンプ、災害医療の支援基地として、東扇島地区(川崎市)の物流コントロールセンターと一体的に機能する防災拠点施設です。

事業にあたっては、平常時の活用も考慮して、都市公園事業により国土交通省と東京都が役割分担を行い整備することとされ、(1)平常時には関係機関が連携して防災に関する情報交換や各種シミュレーション・訓練など、発災時に備えた活動を行う場 (2) 広く国民がさまざまな体験・学習・訓練を通じて、防災への関心を高め、実際に災害に対応できる知識や知恵、技術、自助・共助の心を習得する場としています。

組織的な救助活動がおこなわれるのは、地震発生のおよそ72時間後と言われています。では救助が困難なその72時間を生き残るためにどうするか。首都直下地震の発災から避難までの一連の流れを体験できるツアーを行いました。

### 第2部 交流会(食事会)

その後、場所を移動して昼食会

を開催しました。

〈活動結果または今後の展開〉  
72時間をどう生き抜くかを体験することにより、知識の習得ができたことで普段からの備えをすることと、自助でできることはやるという意識を持てた。

また、継続して災害に対して考える時間を作り、知識の習得とそれぞれの備えを普段からすることが学べました。(報告 岸里)

### 第16回地域腎友会交流会

日時…8月4日(日)  
場所…東京都障害者福祉会館  
出席者…45名(東部10名、北部7名、中南部2名、多摩部10名、理事他16名)

藤田会長のあいさつの後、各地腎友会から5分程度活動報告がありました。

①江東腎臓病を考える会(吉澤会長)

区民祭りにて、血圧計で区民の血圧測定、高い人には診断の勧めをする。毎月1回の新聞発行(会員拡大)

②江戸川区腎友さつき会(宗像副会長)



東腎協第16回地域腎友会交流会

区財政の見直しにより、都内でも先進的な福祉施策が他区並みに後退せざるを得なかったとの報告。

③ NPO法人板橋腎友さくら会 (榎原会長)

透析導入者を減らすため、CKD対策の強化を求める陳情を区議会に提出し、全会一致で採択された。

④ 葛飾区地域腎友会 (中村会長)

区作成のヘルプカード(安心カード)の制作過程に関わり、地域腎友会としての意見を反映させた。

⑤ 墨田地域腎友会 (鬼頭幹事)

ボランティアまつりへの参加、模擬店を出店。

⑥ 足立地域腎友会 (長島副会長)

当日配布した報告書に記載したとおり。

⑦ 八王子地域腎友会 (池谷会長)

透析医療の質の向上の会員への啓発活動。

第二部は戸倉委員長から「40周年記念実態調査から地域活動を考える」と題し講演があり、実態調査の結果等を、各地腎友会、また地域腎友会の無いところも、地域特性の分析を有効利用することの重要性が確認された。

### 東部ブロック 江戸川地区未組織 施設訪問

日時…8月6日(火)

訪問先…江戸川病院メデイカルプラザ、都営新宿線篠崎駅西口と江戸川病院メデイカルプラザ系列、JR小岩西口

今回訪問の目的は、9月8日の江戸川区主催、江戸川腎友さつき会共催で行われる、江戸川病院新城孝道先生による講演会の案内と、懇親会の要請で行きました。

東腎協の事は良く知っており、

参加するかは分からないが、患者会は大いに賛成、協力しますとのことでした。篠崎と小岩合計で患者は110名です。(石井虎二)

### 第17回全腎協 関東ブロック青年交流会

日時…8月10日(土)～11日(日)

場所…アルカディア市谷

参加者…24名(他県)、6名(東京)、計30名

全腎協小野副会長、東腎協藤田会長、須賀副会長の挨拶のあと、宿野部東腎協青年部長の司会で開会しました。



全腎協関東ブロック青年交流会

関東各地の青年部活動の報告に続き、三つの分科会に分かれ討論しました。

第一分科会「全腎協のこれから」

第二分科会「青年部のこれから」

第三分科会「恋愛・結婚について」

分科会の後、夕食・交流会、自由交流会を行い第一日目終了。

二日目は、理学療法士館野雄貴氏にストレッチ体操をご指導いただき、全体会議、分科会の取りまとめをして終了しました。

### 清湘会記念病院グループ 講演会

日時…8月11日(日)

場所…江東公会堂

清湘会4グループが一堂に会しての講演会に参加、会場は立ち見が出来るとほどの大盛況ぶり。講師の佐々木先生による慢性腎臓病に関する話と、スライド交じりの講演が1時間あり、来賓として招待された東腎協戸倉副会長の代表挨拶を最後に終了。

講演会終了後、参加者の懇親会があり、参加者から「何故、患者会が必要なのか、新しく入ってくる患者さんには、恵まれた現在の

医療制度で透析を受けていることがあまり関心がない」という意見があった。(石井虎二)

## 多摩ブロック学習交流会

日時…8月18日(日)  
場所…立川女性総合センター・アイム1Fホール  
参加者…45名

今年の交流会は三部構成で、第一部は腎内科世田谷クリニックの菅沼先生に「しっかり食べて、しっかり透析」の講演、第二部は東京在宅サービスの尾崎所長と長野マッサージ師による「温療法(お



腎内科世田谷クリニック菅沼先生の講演

んあんほう」と運動療法」の講演をしていただきました。第三部は国立音大OGの表さんと富田さんによる「納涼ミニコンサート」が行われました。

今回の交流会は、猛暑の中で参加者も大変だったようで、次回からは参加しやすい時期を選んで開催できるように努力します。

## 第7回全腎協青年会議

日時…8月24日(土)〜25(日)  
場所…ホテル大森東急イン5F  
参加者…全体で65名(東京からは宿野部青年部長出席)



分科会で熱心に討議する参加者

1. P D C A セミナー「問題解決の技法」(講師 櫻堂渉氏)  
2. 「透析43年、私が透析を始めたころのお話」(講師 渡辺典史氏 神奈川県腎友会)

## 第33回臓器移植普及推進キャンペーン

日時…10月6日(日)  
場所…上野恩賜公園  
参加者…82名(東腎協役員19名、来賓6名、東腎協会員57名)

曇り空の中、午前8時よりテント設営、立て看板、のぼり旗を設置し10時開会。



朝8時から設営準備

東腎協梅原副会長の司会で、主催の東腎協小野副会長、共催の東京都福祉保健局保健政策部疾病対策課宮地係長が挨拶し、キャンペーンを開始した。ティッシュ(臓器提供カード)、臓器移植チラシ(約3000枚)と風船(約600個)配布した。一時間半のキャンペーンの後、戸倉副会長の閉会の挨拶で流れ解散した。



キャンペーンに参加された皆さん



### 勉強会

## 「下肢の動脈閉塞症」

小池内科患者会 小池会

小池会では毎年1〜2回、小池内科の小池先生や大病院の先生をお招きし、透析に関する勉強会を行っております。

今回は、去る5月18日夕方5時半より2時間にわたり、喫茶室ルノワール飯田橋西口店の貸会議室において、駿河台日本大病院循環器科・透析室室長の川俣博文先生に講師をお願いし、また小池先生にもご参加をいただいて、透析の合併症である「下肢の動脈閉塞栓症」について映像を交えたお話を伺いました。

14名の参加者の中にはご夫婦でいらした方々もあり、皆さん熱心に先生のお話に耳を傾け、また質



下肢の血流測定

問コーナーではそれぞれ心配事などご相談されていきました。

最後には希望者への機器を使った下肢の血流測定もあって盛り上がり、一同大変有意義な時間を過ごす事が出来ました。

なお東腎協から岸里事務局長、板橋理事が参加してくださり、色々とお手伝いや写真撮影をしてくださいました。ありがとうございました。

## 暑気払いしました

東海病院「ひまわり会」

日時…8月24日(土) 17時30分〜



ひまわり会の皆さん

20時30分

場所…西武池袋線中村橋駅前 居酒屋「村さ来」

参加者…東海病院院長 江本秀斗先生、スタッフ 坂口さん、鎌田さん、斉藤さん、山下さん、佐藤さん、患者側 山崎会長以下9名

今年の夏の暑さに嫌気がさし「暑気払い」をやるうじやないかと言うことになった。もともと決して嫌いではない「酒」をたしなみ、暑さを忘れようという試みだ。

参加者は掲示板と口コミで募る。我々のイベントには東海病院の患者会、ひまわり会のメンバーのみ

ならず、江本院長以下スタッフの方々にも積極的に参加して頂くのが恒例である。

今回は江本院長以下5名、つまり6名と患者会10名が、強い自制心(?)を働かせながら3時間かけて暑さを忘れたのでした。

この席で決まったこと2件。秋の日帰りバス旅行の実施と忘年会の実施。何とも楽しい暑気払いでありました。

なお、秋の旅行は11月10日に実施すべく、現在、参加者を募っている最中です。(坂本悦男)

## あけぼの友の会の25年度バス旅行

あけぼの友の会 豊 義秀

今回は勝沼で葡萄狩りを石和温泉で昼食、カラオケ、温泉入浴し午後は御坂みちを通り河口湖、西湖を経由して東富士五湖道路を抜けて御殿場市を経由し東名高速で町田に帰るルートであった。

秋を愛でる観光客と日曜日の好天に恵まれ道路はかなり混んで来る。予想され町田市から八王子インターに入る予定を変更し八王子バイパスを抜けて高尾山インターより中央高速に入るルートをと

選択した。

葡萄狩りは皆で記念写真撮影後個々に散らばって思い思いにブドウをちぎって食べることにした。9月下旬では桃の時期は終わっており葡萄の種類はタノレッド、ネオマスカット、種無しデラウエアで皆楽しんでた。また終わりに思い思いにお土産として購入していた。

葡萄園を出てからは石和駅近くのホテルで昼食。昼食後は我々の旅行で定例のカラオケになった。カラオケは歌う毎にテレビカードが賞品として支給され皆喜んで熱演していた。このカードは透析中



日帰り旅行・あけぼの会

にテレビを見るためのカードで病院から旅行会に寄付されるもので皆張り切って歌っていた。カラオケに参加しない人は思い思いに石和温泉のお風呂につかり楽しんでた。

2時間程の食事、カラオケ、温泉入浴を終えてバスは137号御坂道を経由して河口湖、西湖の北岸を通り西湖にあるいやしの里根場に到着した。

西湖畔の西北に位置する根場地区は、過去に「かぶと造り」の茅葺民家が立ち並ぶ集落であったが昭和41年の台風災害により甚大な被害を受け集落のほとんどが消滅してしまいました。40数年の歳月を経て昔の茅葺屋根群と富士山の景色が蘇り21棟の茅葺家は心癒される場所になっている。

富士山の景色といやしの里根場を後にして河口湖畔で休憩の後東富士五湖道路、東名高速道路を経由し町田市に帰着した。

この一日事故もなく楽しく過ごさせて頂き、病院からも看護師が同乗して頂き、役員の皆さんも一杯動サービスに努めた結果、楽しい旅行となったことに感謝しています。

2013年7月4日(木) 42回 (第三回発行)

### iPSで肝臓機能確認

#### マウス実験、移植代替に道

横浜市大

横浜国立大学大学院 医学部 消化器内科学 肝臓学 教授 藤原 隆之介 先生は、肝臓の再生にiPS細胞を用いたマウス実験を行い、肝臓の再生に成功しました。この成果は、肝臓の再生にiPS細胞を用いた移植代替に道を開きました。

### 投稿

## iPS細胞研究の山中先生を応援しよう

長久保病院 鈴木 盛夫 (74歳)

東腎協の皆様には常日頃お世話いただき、感謝いたしております。貴誌「NO196」で、2012年の主な活動記録(抜粋)を拝見させていただきました。再生医療iPSで、国でも京大の山中先生を支援する旨の話を見聞します。が、全腎協、東腎協からの「働き掛け」も当然されている事と存じています。日経新聞(2013.7.4)の記事を掲載お願いできればと思います。



内覧会で説明を受ける参加者

### 内覧会・北村記念クリニク新小岩分院

(医療法人社団 光靖会 井口腎泌尿器科)

東部ブロック長 石井 虎二

9月19日(木)、北村記念クリニク新小岩分院の内覧会に行ってきました。参加者は中村理事、板橋編集長、石塚さん、岩沢さんと私の5人。10月開院予定で、室内はまだ工事中でしたが、最新の透析ベッド、諸設備に参加者は驚き・感激の連続。病院側は「従来にない快適な環境での透析を目指しています」とのこと。体験透析もありとのことでした。

## 「八王子市地域腎友会」とその活動紹介

八王子市地域腎友会（以下「八腎会」）は、八王子市内在住の1,300人を超える人工透析患者を対象に、まずは八王子市の六つの透析医療機関に存在する患者会すべてを結集して、平成21年9月20日に設立された人工透析患者団体（基礎自治体単位）です。

「八腎会」の中心的役割は、年3回開設の「透析サロン（学習・交流会）」を通じ、自分の透析医療に自ら積極的に参画し、元気で長生きのできる透析治療基本3原則「しっかりと透析する・しっかりと食べる・しっかりと動く（運動する）」三本の矢Ⅱを実践するための「透析治療の正しい理論と知識」の習得と啓蒙です。その他の「八腎会」の役割として、透析患者の各種福利厚生や災害対策等の改善・向上をめざし、八王子市当局への要望・陳情・請願を積極的に行っています。加えて、八王子市にて開催される福祉関係はもとよりその他のイベントにもできるだけ多く参加しています。

これらイベントの中で、今回は、

去る10月11日（金）～15日（火）、八王子駅北口ユーロードにて開催された第9回八王子古本まつり「八腎会」参加の模様を紹介させていただきます。

今回も参加の理由・目的は、①八王子市民への「八腎会」のPR（知名度・認知度アップ）②会員（その家族含む）の手工芸品・持ち寄り雑貨等の展示・販売（売上げの10%が「八腎会」の委託販売手数料）③腎臓病・人工透析何でも相談（ピア・カウンセリング）と個人会員（患者会のないところ）募集（年会費100円）④10月が「臓器移植普及推進月間」にちなみ臓器移植普及推進キャンペーン（臓器提供意思表示カード配布）等を実施するためです。（文責：八腎会）事務局長「岩崎正宏」



八王子古本まつり「八腎会」ブース

## 第33回臓器移植普及キャンペーン

2013年10月6日（日） 上野公園





協力 渡辺好徳・渡辺典史







なら  
将来にわたって  
治療費を  
御負担  
出来る  
保証は  
いただけま  
すか……？

早急に  
上司と相談して  
保証して  
もらえる様に  
しますので！！  
なので  
どうか治療を  
続けてください！



あの時は  
必死だったから  
上司に  
保証してもらえる  
様にするなど  
デマかせを  
言ってしまうて。

それから  
上司を  
説得するのに  
大変でしたよ  
……。

お願い  
しますッ！





## 今後の活動予定

- 10月27日(日) 第91回理事会(場所未定)
- 11月3日(日) 東部ブロッック交流会
- 11月9～10日(土・日) 全腎協通院介護研修会(場所未定)
- 11月16～17(土・日) 全腎協第107回理事会(東京)
- 11月24日(日) 第92回理事会(場所未定)
- 12月7～8日(土・日) 第94回理事会(場所未定)
- 12月22日(日) 全腎協関東ブロッック会議 in 埼玉
- 12月28日～1月5日まで 第93回理事会(場所未定)
- 冬期休暇(年末、年始休暇)
- 2014年
- 1月6日(月) 仕事始め
- 1月11～12日(土・日) 全腎協第108回理事会(神戸)
- 1月26日(日) 第94回理事会(場所未定)
- 2月15～16日(土・日) 全腎協第109回理事会(東京)
- 2月23日(日) 第95回理事会(場所未定)
- 3月9日(日) 第95回理事会(場所未定)
- 3月13日(木) 第25回腎臓病を考える都民の集い(場所未定)
- 3月15～16(土・日) 世界腎臓デー
- 3月20日 全腎協第53回総会(場所未定)
- 3月20日 第43次国会請願(議員会館)

## 第43次国会請願署名について

本年も「腎疾患総合対策」の早期確立を要望する請願書を提出致します。つきましては、各患者会・個人会員宛に順次送付致しますので、お手数ですが署名活動・募金にご協力お願い致します。

## 表紙の言葉

ケイトウ

加藤 茂

ケイトウの花は、変わった花です。花の由来は鶏の鶏冠(とさか)に見えることからつけられました。花言葉は、「おしゃれ・風変わり・感情的・個性・色あせぬ恋・情愛」など。なるほど花を見ていると、おしゃれであり、風変わりであり、激しい感情を感じられる花で、花言葉とびつたり一致しました。原産地はアジア、アフリカの熱帯地方。日本へは奈良時代に中国を經由して渡来しました。大きな塊となって咲いているのを見ていると、たくましさを感じます。そして鶏のトサカを思い出してしまいます。鶏のトサカといえば江戸時代中期の絵師・伊藤若冲(1716～1800年)の迫力ある鶏の絵も脳裏に浮かんできます。夏から秋にかけて咲く花ですが、私にとっては秋の花です。アフリカ、東南アジアでは、花と葉を食用とされていて、日本でもかつて食用栽培されていた時期もあるということです。

# 事務局から

## ご寄付お礼

- 扶桑薬品工業株式会社  
東京第一支店様（8月～10月）
  - エルピス株式会社様
  - 村手 一郎様
- ご寄付ありがとうございました。

## 青い鳥葉書（切手） ご寄付一覧

- 【患者会】  
織本病院腎友会  
立川相互病院透析室希望会  
金町中央病院グループ  
嬉泉病院ニレの会  
桑の実会  
東京綾瀬腎クリニック腎友会  
（10月10日現在まで分、敬称略・順不同）

葉書・切手等は沢山使用しますのでいつでもご寄付受け付けておりますので、今後共よろしくお願ひします。

～ありがとうございました～

## 事務局冬季休業のお知らせ

12月28日（土）～1月5日（日）まで事務所はお休みさせていただきますのでよろしくお願ひ致します。

## 訂正とお詫び

○本誌NO198号の「東腎協活動のまど」の記事で「板橋腎友会くら会」「板橋区難病団体連絡会」が共同提出した「透析導入者を減らすため、慢性腎臓病（CKD）対策の強化を求める」陳情書は、本年4月16日板橋区議会で「満場一致で採択」されました。訂正してお詫び申し上げます。

○本誌NO198号の「2013年度東腎協執行部」名簿でお名前が誤植がありました。誤「宿野辺武志」→正「宿野部武志」です。訂正してお詫び申し上げます。

## NPO法人東京腎臓病協議会・賛助会員入会のお願ひ

東腎協は社会保障制度、医療費制度の削減など「命と暮らし」を守る活動に取り組んでいます。

医療機関、企業の皆様には、東腎協の活動にご賛同いただき、賛助会員入会を心よりお願ひ致します。

記

○賛助会員会費…個人年額5,000円、団体年額1口10,000円/1口以上  
※年1回名刺広告を機関誌「東腎協」に掲載させていただきます（但し、継続でも初年度1回のみとさせていただきます）。

## 編集後記

10月に入ったのに、「観測史上初：」「〇〇年ぶりの：」とかの報道を耳にする。猛暑、豪雨、枯渇、竜巻…。そして今年の冬は厳冬だという。何でもアリだ。日本の四季という言葉は死語になってしまったのだろうか？

今号は「199号」。1973年4月にタイプ印刷4ページの第1号が発行された。あれから40年、まさに東腎協の歴史の証人です。

そして次号は記念すべき「200号」。新年号でもあり。特集企画や200号記念企画で今から頭がいつぱいです。

読者・会員の皆さんも、「200号の想い出」をたくさんお寄せください。（板橋）

連日の猛暑で長い夏を過ごされた会員の皆様、体調管理の方がいかがでしょうか。

すっかり秋めいて紅葉や秋の味覚を楽しめる季節となりました。

私事ですが、慣れた編集の仕事から不慣れた事務局長職を拝命して4ヶ月経過しました。その間、特にNPO関連の都関係局の資料作成や事務局の登記等は苦勞しましたが、団体の為を考えればやり遂げるしかない状況で、なんとか関係局からご指導を受け承諾されほっとしているところです。

同じ事務所においても、仕事内容がかわれば一から覚えるというスタンスで取り組んでいるところです。

今後も透析患者の高齢化によるロコモティブシンドロームの問題や、診療報酬、災害対策、終末期患者に対する考えか方等问题が山積する中で皆様にご教授頂きながら取り組んでいきたいと思っております。（岸里）

## 寄稿のお願ひ

次号「東腎協」200号に際し、読者・会員の皆さんの「想い出」寄稿を編集部宛にお寄せください。1000字以内、お名前、患者会名、透析歴などをご記入ください。

選ばれているのには理由があります。  
頼れるコエンザイムQ10・  
L-カルニチンサプリ...

**新**

# Q10ペプセル

栄養機能食品(ビタミンE)

キューテン

**コエンザイム Q10** 60mg\*

**L-カルニチン** 120mg\*

**ビタミンE** 15mg\*

カラダに♡  
とって大切です。

でも、加齢ととも  
不足します。

\*配合栄養成分  
(2粒当たり)

「透折/パンザイ」であなじみの  
山猫先生も  
毎日飲んでます!

こんなことで  
お困りでは  
ありませんか?



倦怠感、血圧低下、息切れ、筋肉のツリなど...

**イーホープペプセル**がお届けする

基本サプリメントで、確かな栄養補給を!!

目安として、1日に1~6粒程度の  
範囲でお召し上がりください。

たくさんの方々にお試しいただくために、お試し価格でご提供をいたします。

お試し  
販売価格 **2,800**円

60粒入り1箱当り

★一家族  
初回1回1箱限り

- 定価5,250円/1箱当り
- 会員特価4,700円/1箱当り
- まとめて2箱なら4,500円/1箱当り
- さらに3箱まとめれば4,300円/1箱当り
- 5箱以上お買い上げは4,200円/1箱当り

- ★ペプセルシリーズは定価の5%引きで毎月発送致します。
- ★全て税、送料込み(離島を除きます)

お求めの  
商品の

お電話で  
フリーダイヤル

受付時間 平日9:00~18:00

不老(フロー)

Q10(キューテン)

FAXで

078-231-0330

ネットで

<http://www.clubshop.jp/>

**イーホープペプセル** 〒651-0084 神戸市中央区磯辺通2丁目2番25号 ダイワピュアビル803

平成24年4月より、ネット拠点を神戸に移転いたしました。



KIDNEY CLINIC  
SETAGAYA

## 腎内科クリニック世田谷

しっかり食べられるI-HDF、on-lineHDF、長時間透析、在宅透析(HHD、PD)等の「元気で長生き」を目指した「しっかり透析」をご提供しています!

下記好成績をご覧の上、ぜひご体験下さい(臨時透析も大歓迎です)!

血流量、透析量(Kt/V)、筋肉量(%CGR)の多い方、  
β2MG値の低い方が長生きされています!

項目	腎内科クリニック世田谷 2012年末				
	JSDT 全国平均 (※:2011末)	全体 (n=114)	HD(n=51) (V49%.PAN14%)	I-HDF (n=28)	on-line HDF (n=34)
平均年齢(歳)	65.1	69.9	68.1	74.4	70.8
透析暦(年)	7.12	6.48	4.2	5.83	10.25
Dry weight(kg)	53.6	58.4	59.8	55.2	58.5
透析時間(hr)	3.94※	4.08	3.99	4.07	4.18
血流量(mL/min)	200	309	283	333	330
spKt/V	1.36	1.83	1.65	2.03	1.93
%CGR(%)	99.8	113.5	106.4	121.2	117.3
β2MG(mg/dL)	31.7	25.8	24.9	27.3	26.7

(政金生人:腎と透析70増刊:383-386,2011より引用)

☆私たちスタッフがしっかりサポート致します!



診療時間 月・水・金8:00~22:20/  
火・木・土8:00~18:30

休診日 日曜日

※月・水・金は夜間(準夜)透析も行っております。  
☆昼間無料送迎車サービスあり!

京王線 千歳烏山駅 北口 下車 徒歩5分

TEL 03-5969-4976 E-Mail [info@jinnaika.com](mailto:info@jinnaika.com)

腎内科 世田谷

検索

Kitamura Memorial Clinic

# 北村記念クリニック

心落ちつく空間で  
最高の治療を

## 腎泌尿器科

- 泌尿器科
- 腎臓病
- 尿漏れ
- 高血圧症
- 尿路結石
- 性病 / STD (性感染症)
- 糖尿病
- 内視鏡

## 人工透析

- 血液透析 (オンライン HDF)
- シェント作成
- 臨時透析

### アクセスマップ



### ▶ 徒歩でお越しの患者様

- ① 新小岩駅南口のロータリーをルミエール商店街に向かって直進
- ② 信号を渡り、ルミエール商店街入口を左折 (目印・ケンタッキーフライドチキン)
- ③ 平和橋通り (国道306号線) を右折
- ④ 約100 m 直進すると右手にございます。(日本海新小岩店様の隣・メディカルタウン新小岩内)

### ▶ お車でお越しの患者様

当院向かいの駐車場・NPCクイックパーキングをご利用下さい。

### 医療法人社団 光靖会 北村記念クリニック

〒124-0024 東京都葛飾区新小岩 1-49-10 メディカルタウン新小岩

TEL 03-6231-5931 FAX 03-6231-5932

URL <http://www.k-kc.jp>

ドクターベジタブルは、美味しさや栄養素を損なうことなく、  
カリウム含有量を80%以上カット。

「食べられない」を「食べられる」に変え、笑顔の食卓づくりをお手伝いいたします。



専門家  
からの  
評価



医療法人社団博仁会 宮地医院  
管理栄養士 樋川千子さん

カリウム制限をしている方にとって、カリウムを多く含む生野菜や果物は食べることを厳しく制限されています。しかしこのレタスは従来商品に比べてカリウム含有量が80%以上カットされているので、水にさらしたり、にこぼすことなく使うことができます。また、エグ味も少なく美味しくと評判です。

甘くてシャキッとした  
食感をお楽しみ下さい!

## 低カリウムプレミアムレタス

世界で初めて  
量産化に成功した  
ドクターベジタブル

カリウム  
含有量  
80%以上  
OFF

安心  
安全の  
農薬不使用  
栽培

シャキ  
シャキッと  
鮮度  
長持ち

カリウム含有量比較 mg/100g



※五訂増補日本食品標準成分表より

※江東微生物研究所食品分析センター検査結果

ラインナップも  
続々開発中!!  
随時お客様に  
ご提供させて  
いただきます。  
ご期待ください!



低カリウムメロン  
(近日市場投入予定)



低カリウムトマト  
(研究開発中)



低カリウムいちご  
(研究開発中)

こちらの店舗で  
お買い求めいただけます。

- 三越日本橋本店地下1階「室町 万弥」
- 三越恵比寿店地下2階「万弥」
- 新宿伊勢丹本店 地下1階「クイーンズ伊勢丹」
- 京王百貨店新宿店地下1階「定松」
- 東武百貨店池袋店プラザ館地下2階「定松」
- 新宿高島屋地下1階「サン・フレッシュ」
- 小田急百貨店新宿店地下2階「九州屋」
- 小田急百貨店町田店地下1階「九州屋」
- 二子玉川ライズ・ショッピングセンター地下1階「九州屋」
- 渋谷ヒカリエShinQs店地下3階「九州屋」
- 松坂屋上野店南館地下1階「九州屋」
- 横浜高島屋地下2階「サン・フレッシュ」

お問い合わせ

会津富士加工株式会社 ☎ 0120-831-033



Dr. Vegetable® の詳しい情報は、<http://drvegetable.jp>

ドクターベジタブル

検索